後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	5	持続可能なまちづくり	担当部	総務企画部
基本施策	1	総合的なまちづくりの推進		
単位施策名称	3	平和行政の展開		
施策の方向性	●慰霊式典や被爆体験記などを通じて、次世代へ被爆の実相を継承します。 ●非核宣言自治体等と連携し、平和に対する住民意識の高揚を図ります。			

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	平和に関する情報発信回数	回	目標値		6	6	6	7	7
			実績値	5	10	10	8	13	32
			達成状況		達成	達成	達成	達成	達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	例年の原爆死没者慰霊式及び平和祈念式典の開催に加え、ロシアのウクライナ侵略に際しては、初めて府中町単独で抗議文を送付するなど、積極的な平和行政を展開する中で、目標値を達成しました。
R4	例年の平和記念式典の開催に加え、ウクライナ支援のための募金箱の設置、アメリカ合衆国の核実験に対する抗議等により、平和に関する情報の発信を積極的に行いました。
R5	平和記念式典の開催にあたり防災無線での放送、広報での情報発信を積極的に行いました。 また、実施した内容について、ホームページで発信を行いました。
R6	平和記念式典の開催にあたり防災無線での放送、広報での情報発信を積極的に行うとともに、実施した内容についてホームページで発信を行いました。 また、臨界前核実験を行ったアメリカ合衆国に対し抗議しました。
R7	被爆80年に当たり、例年の平和祈念式典等による発信に加え、追悼コンサート、平和標語コンクール、府中町ゆかりの原爆資料展など、平和を発信する事業を多角的に実施しました。

・評価及び対応方針

R3	広島の地方自治体としての責務に応えるため、そしてより一層の住民意識の高揚を図るため、平和に関し引き続き適時適切な情報発信に取り組みます。
R4 R5	非核町宣言自治体として、今後も継続して平和に関する情報の発信を行い、平和に対する住民意識の高揚を図ります。
R6	非核町宣言自治体として、今後も継続して平和に関する情報の発信を行い、平和に対する住民意識の高揚を図ります。 特に、被爆80年（令和7年）を経て、町独自の取組みによる発信を、より積極的に行います。
R7	非核町宣言自治体として、今後も継続して平和に関する情報の発信を行い、平和に対する住民意識の高揚を図ります。 特に、被爆80年（令和7年）で実施した平和の尊さを伝えつなぐ町独自の取り組みを継続して積極的に行います。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		0	0	0	0	0	0